

関係機関・団体・課・室長 様

兵庫県農林水産部長

令和5年度 兵庫県農業気象技術情報第8号（1～2月情報）について（送付）

このことについて、下記のとおり情報を作成しましたのでお送りします。

記

1 気象経過・予報から想定される栽培上の留意点と対応策

作物	地域	栽培上の留意点	対応策
水稲	全県共通	<p>1 生育 土づくり資材（肥料）及び有機物などを施用して土づくりに努める。堆肥は秋冬に投入した方が、次年度の地力窒素として効果的である。 秋すきをしていないほ場は、早急に耕うんし、稲わら・大豆殻等の腐熟を促進させるとともに、ヒメトビウンカやスクミリンゴガイ（下記2参照）の越冬密度の低減を図る。</p> <p>2 病虫害 ・スクミリンゴガイが発生している地域については、ひょうごの農林水産技術No. 215 (https://hyogo-nourinsuisangc.jp/wp/wp-content/uploads/2021/11/nousui215_02.pdf) 及び農林水産技術総合センターYou Tube動画「スクミリンゴガイの生態と防除～冬季の耕うん～(https://youtu.be/aeppoxufEcQ)」を参考に、走行速度を落として丁寧な耕うんを実施する。 ・カメムシ類、ヒメトビウンカ等の越冬密度を下げるため、あぜ草の管理に努める。 ・ごま葉枯病が多発した圃場では、改良資材の投与や堆肥の施用など、土壌改良に努める。</p>	
麦	全県共通	<p>1 生育 本年度は播種時期に高温少雨で経過したことから、出芽期以降の生育は、いずれの地域でもおおむね順調に生育している。</p> <p>2 栽培管理 麦踏みは、ほ場が乾燥している時に、節間伸長期までに数回行い、分けつの促進と凍害防止を図る。播種量が多く、出芽後の生育が旺盛なほ場では、生育を抑えるために早めに実施することで、倒伏防止につながる。ほ場が湿った状態で麦踏みをする、トラクターの車輪跡が残り、かえって湿害を助長するため、ほ場乾燥時に実施すること。 排水溝は、水が溜まらないように手直しを確実にし、常に排水口に水が流れるようにする。</p>	
キャベツ	全県共通	<p>1 生育 10～11月にかけて気温は高く推移しており、生育、収穫時期が早まる可能性がある。</p> <p>2 鳥獣害 1～3月は、ヒヨドリによる食害が多くなる。</p>	<p>1 生育 結球期以降は凍霜害を受けやすくなる。球表面の腐敗の発生等、品質が低下しないうちに適期に収穫を行う。</p> <p>2 鳥獣害 鳥害が予想される場合は、ネット被覆等の対策を行う。</p>

作物	地域	栽培上の留意点	対応策
果樹	全県共通	<p>1 生育 凍霜害や雪害の発生防止に努める。</p> <p>2 病害虫 越冬病害虫の密度を下げる。</p>	<p>1 生育 敷きわらや伸びた草等は、果樹園内の気温を下げるので、敷きわらは霜害危険期を過ぎてから行う。 クリ、ブドウ、モモ等において、耐寒性の劣る幼木のせん定は、厳寒期を過ぎてから行う。 ・クリ：春先の低温被害の対策として、幼木(2～4年生)への株ゆるめ処理等を行う(特に水田転換園は留意する)。 ・イチジク：稲わら、アルミ蒸着フィルム等で被覆を行う。 ・青ナシ：粗せん定を実施し、枝への積雪を少なくする。また、棚の点検を行い、不良箇所を補修するとともに、必要に応じて中柱を追加する。 ・カンキツ類：耐寒性の劣る幼木や品種、未収穫樹に、不織布やこもで樹全体の被覆を行う。</p> <p>2 病害虫 病害虫の被害果、せん定枝及び落葉は、焼却あるいは園内からの持ち出しを行う。またマシン油乳剤や石灰硫黄合剤による薬剤防除とともに、粗皮削り等、耕種的な対策を組み合わせ、越冬病害虫の密度を下げる。</p>

◎水稻・麦の栽培については「稲・麦・大豆作等指導指針」を、防除については「病害虫発生予察情報」及び「病害虫・雑草防除指導指針(兵庫県農薬情報システム)」を参考にすること。
※本情報は、12月25日時点のデータを元に作成しています。

2 気象予報

(1) 近畿地方の向こう1か月予報

近畿地方 1か月予報 (01/06~02/05)		
2024年01月04日14時30分 大阪管区气象台 発表		
向こう1か月 01/06~02/05	天候	近畿日本海側では、平年に比べ曇りや雪または雨の日が少ないでしょう。近畿太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
	気温	平均気温は、高い確率60%です。
	降水量	降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。
	日照時間	日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。
降雪量	近畿日本海側の降雪量は、少ない確率60%です。	
1週目 01/06~01/12	気温	1週目は、高い確率60%です。
2週目 01/13~01/19	気温	2週目は、高い確率60%です。
3~4週目 01/20~02/02	気温	3~4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

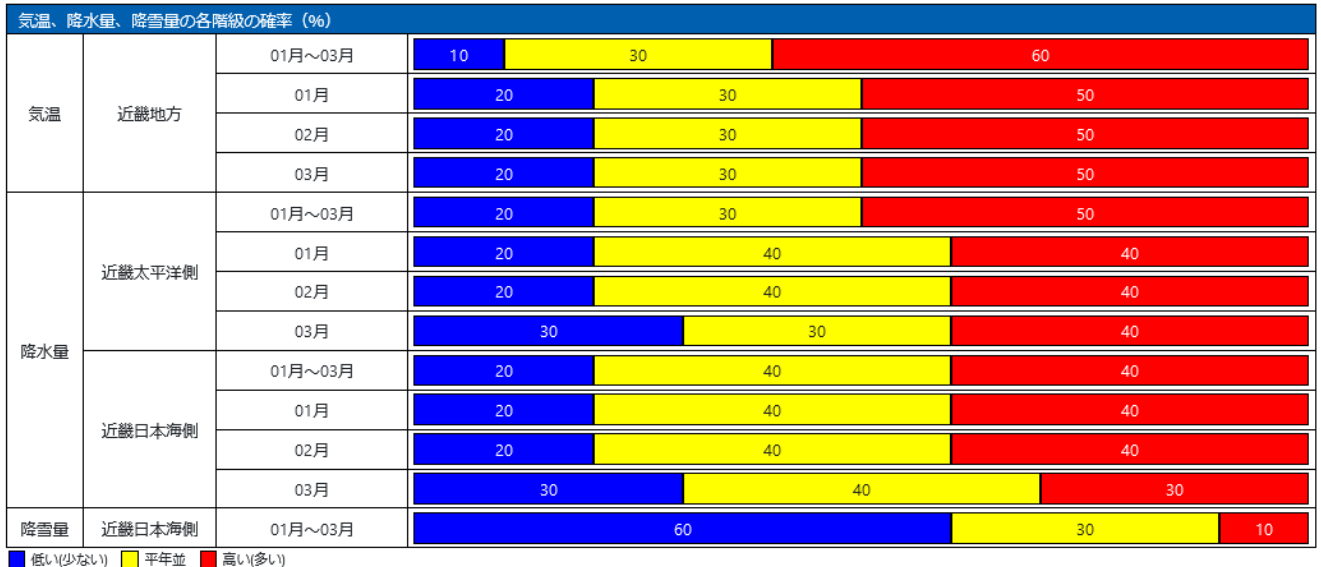
気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)

項目	地域	階級	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	近畿地方	向こう1か月 01/06~02/05	10	30	60
		1週目 01/06~01/12	10	30	60
		2週目 01/13~01/19	10	30	60
		3~4週目 01/20~02/02	20	40	40
降水量	近畿地方	向こう1か月 01/06~02/05	40	40	20
日照時間	近畿地方	向こう1か月 01/06~02/05	20	40	40
降雪量	近畿日本海側	向こう1か月 01/06~02/05	60	30	10

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

(2) 近畿地方の向こう3か月予報

近畿地方 3か月予報 (01月～03月)		
2023年12月19日14時00分 大阪管区気象台 発表		
01月～03月	気温	平均気温は、高い確率60%です。
	降水量	降水量は、近畿日本海側で平年並または多い確率ともに40%、近畿太平洋側で多い確率50%です。
	降雪量	近畿日本海側の降雪量は、少ない確率60%です。
01月	天候	近畿日本海側では、平年に比べ曇りや雪または雨の日が少ないでしょう。近畿太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
	気温	気温は、高い確率50%です。
	降水量	降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。
02月	天候	近畿日本海側では、平年に比べ曇りや雪または雨の日が少ないでしょう。近畿太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
	気温	気温は、高い確率50%です。
	降水量	降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。
03月	天候	近畿日本海側では、天気は数日の周期で変わっていくでしょう。近畿太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率50%です。



※ 気温・降水量・日照時間は低い・平年並・高い(少ない・平年並・多い)の3階級で予報されます。階級の幅は、平年値の作成期間(1991～2020年)における各階級の出現率が33%となるように決めてあります。

ホームページアドレス

- ・「兵庫県病害虫防除所(病害虫発生予察情報)」
<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/>
- ・「病害虫・雑草防除指導指針(兵庫県農薬情報システム)」
<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/hyogo>
- ・「稲・麦・大豆作等指導指針」
https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk12/af11_000000107.html

問い合わせ先

本情報に関すること

- ・兵庫県農林水産部農産園芸課
TEL (078)341-7711(代表)
農産班:主作・機械担当 内線 4074
農産班:野菜担当 内線 4054
花き果樹班 内線 4066

技術内容に関すること

- ・県立農林水産技術総合センター
企画調整・経営支援部 TEL (0790)47-2435
農業技術センター 農産園芸部 TEL (0790)47-2410
農業技術センター 病害虫部 TEL (0790)47-1222
北部農業技術センター 農業・加工流通部 TEL (079)674-1230
淡路農業技術センター 農業部 TEL (0799)42-4880

兵庫県ホームページでも本情報を公開しています。

URL : http://web.pref.hyogo.lg.jp/af11/af11_000000097.html
(兵庫県トップページ>分類から探す>食・農林水産>農業>農作物>農業気象技術情報)